

蔦の葉

株式会社 北海道日立システムズ
プラットフォーム・フィールドサービス事業部
フィールドサービス本部
全道フィールドサービス部 北見S C

村 田 貴 行

初冬の日曜日、単身赴任先の家に戻った。
ストーブに火をつけ、水落としを解除する。
また明日から仕事だ。今晚は、お風呂にお
湯をためて入ろう。

ひねる蛇口、出ないお湯。台所も水すら出
ない。

白濁した胡麻油？氷が張った風呂桶... し
まった！凍結だ！

冬の寒さを甘く見ていた。

ドライヤーで水道管を温めると、蛇口から
チョロチョロと水が出てきた。

ホッとしていると、シューっと聞きなれな
い音。

洗濯機用の水道管に亀裂。

漏れ出す、空気と水。

立ち尽くす私。

風呂も全て諦め、布団に潜り込んだ。

冷えた体と後悔のせいで眠れなかった。

仕事でも私生活でも、同じような失敗をし
てきた。

こんな自分に辟易する。

拔かりなく、脇目も振らず、やるべき事を
やれば良い事はわかっている。

経験の蓄えは、良い作用もあれば、悪い作
用もある。

例えば、真面目にやっけていても、何も起き
なければ甘えが出て、手を抜きはじめる。

やがて綻び、失敗へのカウントダウン。

そして、テイクオフ！

取り消せない。

ミス・マーサを笑う資格を、私は持ち合わ
せていなかった。

だから、だからだ。

どこを切っても同じ模様の金太郎飴のよう
な仕事をしようと思う。

何事も見当をつけ、繰り返しやる事で品質
は安定していく。

見当（それ）は、マニュアルや基本動作そ
のものではないか。

マニュアルは、個人の経験や知力の差を埋
め、品質を一定に保つ優れたもの。

繰り返すことで練度も上がり、仕事も早く
なる。

基本動作は、予言書のように感じる部分も
あるが、

棋書のように色々な戦い方の基本を教えて
くれる。

昔、機器の修理で、マニュアルを見なくて
も、音や経験値で対応出来る人がいた。

タイミングベルトのテンション調整値は、
手が教えてくれるそうだ。

現在は、受け継いだ技術に加え、マニユア
ルや情報、ツールも使いこなし、淀みなくテ

キパキと仕事をする人が多い。

私はあっけにとられてしまう。

隣の芝は青く見えるもので、自分に無い能力を目の当たりにすると羨ましく思う。

心にへばりつく承認欲求や自己顕示欲に負け、背伸びをすれば暴走してしまう。

その結果、余計に時間がかかり、時には信用を失う。

身の程を弁えないとならない。

こんなことがあった。

私が愚直にチェックシートを使い、資料を見ながら作業をしていると、「〇〇さんはこうしている」や「早く終わらせて欲しい」など言われた。

言葉にしなくても態度で示す人もいる。

誰の顔を立てれば良いか、何を優先すれば良いのか、判らなくなる。

仕事が遅いという烙印を押され、閉口した。拙い仕事を詫び、作業を進めるしかなかった。

でも、悪いことばかりではない。

スピード重視で仕事をして、失敗した時の

こと。

「なんで、いつも通りやらなかった？」と言われた。

私の拙い仕事ぶりをよく知る、仕事も頭の回転も速い先輩だった。

叱られはしたが、思いもよらない言葉をかけられた。

嬉しかった。

いい年して、こんな作文を書くものではないと思う。

何かを諦めたり、わかって欲しいわけではない。

いや、少しわかって欲しいから書いてしまった。

この作文が自分宛てなら、過去を振り返り反省してほしい。

締めくくりは、何も言い返せないように「返信不要」と書く。

評価を得られなくても、実を結ばなくても、誰が為に落ちない蔦の葉を描いた老画家のような気概くらい、持ち合わせていたい。